

東京歯科大学市川総合病院の理念

愛と科学で済生を

病院の基本方針

- 地域医療の中核病院として、多職種が関わる良質で高度な全人的医療を提供します。
- 2 診療・教育・研究において、歯科医学ならびに医学の発展に貢献します。
- 3 病める人の意思を尊重し、個人の情報を保護しながら、医療の透明性を堅持します。
- √ 医療の安全を確保するために最大限の努力をはらいます。
- り

 り

 関連する他の医療・保健・介護福祉機関との緊密な連携を図ります。
- ↑ 職員の能力開発に取り組み、専門分野のみならず、社会性の向上と人格の涵養に努めます。

患者さんの権利と責務

患者さんの権利を守るため、患者さんご自身とご家族も 病院職員と力を合わせて、医療に参加・協力をお願いします。

患者さんの権利

- 人間としての尊厳が守られ、根拠に基づいた安全で良質な医療を、公平に受ける権利があります。
- ② 適切な情報提供や、十分に納得いく説明を受ける権利があります。また、明確な意思を表示すれば、情報を知らされない権利があります。
- **3** 納得をもとに、治療法などを自らの意思で選択する権利があります。
- ④ 自分の診療録の開示、説明、セカンドオピニオンを求める 権利があります。
- **⑤** 個人の情報やプライバシーは保護される権利があります。

患者さんの責務

- 動診断・治療に必要なご自身の情報を正確にお伝えください。
- ② 病院の規則を守り、他の患者さんや病院職員への迷惑行 為を慎んでください。
- 3 受けた医療に対し、医療費をお支払いください。

こどもの権利

私たちは診療をするにあたり、こどもたちをチームの 大切なメンバーとして迎え入れたいと考えています。

あんしんしてすごせるようにするよ。(適切な医療を受ける権利)

- 安小できる環境で、もっとも良いと考えられる医療を受けることができます。
- 2 思いやりをもった看護や支援を受けることができます。
- 3 入院していても、できるだけ病院で遊んだり、勉強したりできるようにします。

みんなでいっしょになおしていこう。(医療に参加する権利)

- 2 わからないことや心配なことは、誰かに話したり、たずねたりすることができます。

たいせつにしたいことはまもられるよ。

- (人権の尊重と個人情報が保護される権利)
- ① こどもであっても、ひとりの人間として価値観や信仰など大切にしたい ことを守ってもらうことができます。
- 2個人情報やプライバシーを大切に守ってもらうことができます。

ごあいさつ

1946年に14床の歯科病院として開設して以来、東京歯科大学市川総合病院の使命は一貫して地域社会から求められる病院であり続けることだと感じております。これまでも、時代の流れに合わせて救急告示病院、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、地域災害拠点病院などの指定取得や、高齢者医療の充実のための訪問看護ステーションの設置、新型コロナウイルス感染拡大への対応など、その時々に求められる地域医療への参画をしてまいりました。新たな取り組みとして、2023年7月に外来棟1階ロビーに入院支援相談室を新設し、患者さんにご不安なく入院治療に臨んでいただけるようサポートができるようになりました。また、2023年9月に外来棟2階へ新設した薬物療法室では、治療を受ける患者さんにとって快適な空間であるだけでなく、ミキシングルームを併設するなど安心・安全、そして効率的な薬物治療を提供しております。今後も更なる医療の質の向上や医療安全の確保をしつつ、地域社会の求める病院を目指してまいる所存です。

また、設立母体が歯科大学である当院では、歯科診療部門の充実が特長として挙げられます。歯科外来棟には、歯科診療台25台に加え手術室1室を備えており、日帰り全身麻酔手術や障がい者歯科治療の対応が可能となっています。さらには、口腔がんをはじめとする難治性の歯科疾患での良好な治療成績はもとより、歯科医師が多くの診療科の中で口腔ケアや摂食・嚥下機能維持など中心的役割を果たすことにより、術後合併症の減少、入院期間の短縮、患者さんのQOLの維持・向上に寄与しています。このような医科・歯科の医療連携は、病院内にとどまらず地域の医科・歯科連携にも繋がり、患者さんにとって有益であると確信しています。

地域社会から求められる医療機関となるには、地域の医療機関との前方・後方連携が必要不可欠です。患者さんに継続性のある適切な医療を提供できるよう、近隣の病院あるいは診療所の先生方と顔の見える関係の構築に力を入れており、「市川リレーションシップカンファレンス」など地域の先生方との勉強会も定期的に開催しておりますので、ぜひご参加いただければと思っております。

今後も、当院の理念「愛と科学で済生を」を胸に、職員一丸となって地域に頼られる病院となれるよう、 日々努力を重ねてまいります。これからも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



	1946 s.21	1949 S.24	1951 S.26	1953 S.28	1958 S.33	1964 S.39	1967 S.42	1969 S.44	.,,,=	1982 S.57	1987 S.62	1989 н. π	1991 H.3	1992 H.4		3 1996 H.8	199 H.9	997 H.9	1999 H.11	2001 H.13	2002 H.14	2004 H.16	2005 H.17	2006 H.18	2008 H.20	2009 H.21	2012 H.24	2014 H.26	2015 H.27	2016 H.28	2018 H.30	2019 R. 元	2020 R.2	2021 R.3		2023 R.5
沿革	時:市川市菅野6丁目/14床)。 科大学の付属病院として開院(当東京歯科大学市川病院も、東京歯科下学市川病院も、東京歯下り、我が国初の歯科大学となる。東京歯科大学(旧制)の設置認可が東京歯科大学(旧制)の設置認可が	我が国初)。 大学病院として他科を有したのは 力病院となる(2病棟、30床。歯科内科、外科が開設され、3科を持	形外科を新設(4科)。	を有する病院となる。病院拡充工事が行われ、110床	a。	行われる。243床に増床。眼科を新設(8科)、本館竣工式が	千葉県で7番目の総合病院となる。総合病院の名称使用が認められる。	放射線科を新設(9科)。	新館病棟落成、261床に増床。	(我が国2例目)。 受精に成功、翌々年には男児誕生体外受精センター開設、翌年体外	合病院と改称。 学市川病院を東京歯科大学市川総皮膚科を新設(10科)、東京歯科大	の成功、双子の女児誕生(我が国初)。体外受精センターで凍結受精卵移植	泌尿器科を新設。	床となる。 標榜診療科6科、470病院開設。標榜診療科6科、470	所(市川市菅野5丁2	青申斗を新设、票旁参斎斗7斗と「地域災害拠点病院」の指定。	を来言。枝木言打	84~145。 歯科口腔外科を新設、標榜診療科	認定。 千葉県からの告示により救急病院に	が国初)。 市川総合病院角膜センター開設(我市川総合病院角膜センター開設(我	設。 ニューラックショ	診療科19科となる。リハビリテーション科を新設、標榜	20科、570床に増床。 心臓血管外科を新設、標榜診療科	口腔がんセンター開設。	院」に指定される。DPCの導入。となる。「地域がん診療連携拠点病形成外科を新設、標榜診療科21科	る。変更により、標榜	科を新設、標榜診療科23科となる。消化器外科、神経内科、呼吸器内	科となる。 病理診断科を新設、標榜診療科24	テゴリーエ認定。 榜診療科26科となる。羊膜バンクカ 榜談療科26科となる。羊膜バンクカ	地域医療支援病院」に承認。	15189」を取得。 臨床検査科が国際規格「ISO	テーションを併設。東京歯科大学すがの訪問看護ス	感染対策を開始。新型コロナウイルス感染症が蔓延、	Ver2.0/主たる機能 般病院2)。病院機能評価の更新認定(3rdG:	援口ボット(hinotori≧)を導入。歯科外来棟新設、千葉県初の手術支	新設。現在に至る。入院支援相談室設置。薬物療法室

患者さんのスムーズな受診のために

地域医療支援病院として

当院は地域医療支援病院として患者さんと医療に関わる皆さんを より一層バックアップできるよう、さまざまな窓口を開設しています。

初診のご案内

受診の際には、医療機関からの紹介状が必要です。紹介状のない場合は選定療養費(9.900円・税込)がかかります。

受付時間 平日 8:30~11:00/土曜日 8:30~10:30(第2土曜日休診)

休 **診 第2土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始、創立記念日**(2月12日)

お問合わせ: 患者支援センター地域医療連携室 TEL. 047-322-0151(代表)

医療機関専用

初診事前予約のご案内

初診患者さんのご予約を、医療機関からのFAXにて承ります。申込フォーマットはお問い合わせください。

患者支援センター地域医療連携室 TEL. 047-322-0151(代表) FAX. 047-324-8539 (直通) 受付時間: 平日9:00~17:00 / 土曜日9:00~12:00(第2土曜日を除く) ※休診日、時間外の場合は、翌開院日の対応となります。

緊急紹介対応窓口

緊急で受診が必要な患者さんのご紹介には看護師が受診調整を行っています。お電話にて病状をお伝えください。

患者支援センター地域医療連携室 TEL. 047-324-8537(直通) / 047-324-8623(直通) 受付時間: 平日 9:00~17:00 / 土曜日 9:00~12:00(第2土曜日を除く)

心臓病センター

心疾患が疑われる場合は、下記にご連絡ください。医師が直接対応いたします。

心臓病センターホットライン【患者非公開】 TEL. 047-324-8671(直通)

放射線科ダイレクトサービス

CT・MRI・RIの画像診断のご依頼を承ります。初回は登録が必要となります。

放射線科受付 TEL. 047-322-0151(代表)

ご予約受付時間: 平日 9:00~17:00 / 土曜日 9:00~12:00(第2土曜日を除く)

5つの部門で手厚くサポート

患者支援センター

患者支援センターは、患者さんとご家族が安心して治療に専念できるように支援するとともに、患者さんに対して入院前から退院やその後の在宅生活を含めた切れ目のない医療とサービスの提供ができるよう、医療機関・施設などとの連携に努めています。

●連携事務部門

医療機関の先生方と連携強化を図るため、院内外における 連絡調整窓口として対応しています。紹介状の返書管理診 療予約や診療情報提供書などの手配、また講演会の開催を 実施しています。

●患者相談部門

がん相談支援センター

治療や療養生活、不安や悩み、情報探しのお手伝いなど、 さまざまな相談について、専門の相談員がお応えしていま す。当院の患者さん、ご家族だけでなく、地域や世代を問 わずどなたでもご相談いただけます。

●在宅療養支援部門

1日も早く入院前の生活を継続できるように、患者さんやご家族と入院前に外来にて面談を行い、入院準備のための支援をしています。また入院前から地域の在宅療養支援者と連携を図ることで、切れ目のない支援が行えるように取り組んでいます。





患者相談部門 がん相談 支援センター MSW 医師 がん看護専門看護師

センター長 医師 連携室長 副看護部長

退院支援 部門 看護師長 主任看護師 看護師 在宅療養 支援部門 主任看護師 看護師

●退院支援部門

平均在院日数が短くなるなか、入院直後から院内外の多職種と連携して、退院後も切れ目なく必要な医療や介護が受けられるように支援しています。

●ベッドコントロール部門

病院のすべての病床を一元管理し、入院治療を必要とする 患者さんに、速やかに適切な病床を提供しています。

市川リレーションシップカンファレンス

地域の先生方と当院の医師とのより深い相互理解を得ることを目的としたカンファレンスを行っています。

開催回数	演題	開催年月	詳細
第 41 回	「高齢化と闘う栄養摂取」	2023年9月	『代謝・栄養学的アプローチこそ、認知症治療の希望の光!:アルツハイマー博士の「箴言」を無視し続け迷走する 最新認知症治療の限界と盲点』 『老嚥 一高齢者の飲み込みに関する問題―』 『高齢者の栄養管理と多職種連携』
第 42 回	『腎代替療養法』	2023年11月	『腎代替療法選択〜当院における腎移植外来での関わり〜』 『腎移植の実際 外科的管理』『腎移植の実際 内科的管理』 『慢性腎不全患者の口腔管理』
第 43 回	『悪性腫瘍の治療 up to date』	2024年3月	『がんの治療効果を最大最適化させるチーム医療』 『光で治す!口腔癌の最新治療』
第 44 回	『新任者紹介・診療科紹介』	2024年5月	『地上の天使に出会えるトコロ』『小児科のご紹介』
第 45 回	『口腔内乾燥トラブル』	2024年7月	『口腔乾燥症 ~原因はシェーグレン症候群だけではないよ~』 『高齢社会における口腔乾燥症の考え方』



4

診療部門の ご案内

神経内科

入院診療では脳血管障害、神経感染症などの 救急疾患を中心に、外来診療では片頭痛、神 経変性疾患、神経免疫疾患などの慢性疾患を 中心に幅広い診療を行っています。スタッフが 専門性を生かして適切な治療を提供しており、 脳血管障害については脳神経外科とともに脳 卒中センターにて治療を行っています。 臨床研 究も積極的に行っています。

精神科

当院は、各種の脳画像・神経心理の検査が可能です。これは近年増加する認知症診断に不可欠で、その依頼等を通じて地域の先生方と連携しております。一方で現在は、うつ病や不安症等は薬だけで治すのではなく、心理社会的支援や主治医との長い関係性も重視される時代です。そのためリソースに欠き、また若い医師の出入りが頻回の当科では、それらの疾患のサポートが可能な近隣医療機関に速やかな橋渡しを心がけております。

呼吸器外科

原発性肺がんや転移性肺腫瘍に代表される肺悪性腫瘍を中心に、自然気胸、肺嚢胞、縦隔腫瘍(胸腺腫、胸腺がん、神経腫瘍、リンパ腫など)、気管腫瘍、各種の原因による気管・気管支狭窄、胸壁腫瘍、膿胸、肺良性疾患、胸部外傷などの外科治療を対象にしています。手術では安全性と確実な治療効果を第一の目標とし、状況に応じて術後の痛みの軽減を考慮した胸腔鏡手術や胸壁の損傷を最小限とする工夫をしています。

リハビリテーション科

診療区分は脳血管I、運動器I、呼吸器I、心大血管I、廃用I、がんの6種類で、リハビリ医の指示のもと担当制で訓練を行っています。「早期離床チーム」があり、ICU・HCU入室後48時間以内に多職種による早期リハビリテーションプログラムを導入し、退室後もシームレスなリハビリテーションの継続実施が可能となりました。また脳卒中センター、心臓病センターに専従療法士を配置し、超早期からのリハビリテーションを実施しています。

内科

糖尿病・内分泌分野、血液分野、腎臓高血圧分野、リウマチ・膠原病分野の診療を行っています。疾患として、糖尿病(1型・2型)、脂質異常症、バセドウ病(糖尿病・内分泌分野)、白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫(血液分野)、腎炎、慢性腎不全、高血圧(特に治療抵抗性)(腎臓高血圧分野)、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、皮膚筋炎(リウマチ・膠原病分野)などに対応しています。

呼吸器内科

呼吸器感染症、肺がん、COPDなどの疾患を 担当しています。肺がんに対する化学療法、免 疫療法、放射線療法、緩和療法などを得意とし、 気管支鏡検査やCT下経皮的肺生検などによる 組織診断を行います。治療方針は、がんの状態を検査し外科や放射線科との合同カンファレ ンスにて総合的に検討しています。また、早期 に緩和ケアチームに相談して症状緩和に努め、 年齢や合併症を考慮した総合的な治療を提供しています。

小児科

基本的にどのような分野の疾患も診療の窓口として 拝見します。心臓疾患や低身長・肥満・思春期に 関するご相談などを小児循環器専門医、小児内分 泌代謝専門医がそれぞれ担当しています。さらに小 児アレルギー専門医による食物負荷試験、乳児血 管腫に対する内服薬治療、頭のかたち外来での頭 蓋変形に関する診断やヘルメット矯正治療も行って います。先天性代謝異常等検査、乳幼児・学校 健診、小児生活習慣病健診の精査機関として、地 域のお子様の心身の成長と健康を見守っています。

脳神経外科

脳腫瘍、脳血管障害、機能疾患などの診療を 行っています。脳腫瘍は、髄膜腫等の良性腫瘍、神経膠腫等の悪性腫瘍いずれも手術経験 が豊富です。悪性腫瘍に対しては、覚醒下手術、遺伝子診断、放射線療法・化学療法等 により最善の治療を提供しています。脳血管障害は、開頭術と血管内手術いずれも対応しています。機能疾患は、三叉神経痛、顔面けいれんの外科治療を行っています。

心臓血管外科

循環器内科と連携し、手術が必要となった循環 器疾患の患者さんを対象に、ペースメーカー植 え込み手術、心臓弁膜症手術、冠動脈バイパ ス手術、胸部大動脈瘤手術などを行います。

※現在、専門医の不足により診療を縮小しているため新規紹介患者さんの受け入れを制限しています。

消化器内科

ほぼすべての消化器疾患に対する診断、治療が可能です。内視鏡は年間約5,000件以上行っており、止血処置、早期がんを内視鏡で切除するESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)やERCP(内視鏡的逆行性胆道膵管造影)を数多く行っています。特に胆道・膵疾患に関しては小腸内視鏡を用いた胆道処置、超音波内視鏡下瘻孔形成術、電気水圧衝撃波結石破砕術など特殊治療も行っており、東葛南部圏で中心的な施設となっています。

循環器内科

心不全、急性心筋梗塞、狭心症、および不整脈など、ほぼすべての心疾患に対応しています。最新の薬物治療はもちろん、ステント治療、カテーテルアブレーション、ペースメーカー、それにPCPS/ECMOといった高度専門的医療まで提供可能です。24時間365日専門医が当直・待機しており、特別な事情がない限り急患をお断りすることはありません。また、慢性心不全の病診・多職種連携に精力的に取り組んでいます。

外科

主に消化器がんを治療対象とした消化器外科を メインに、乳房などのがん治療、胆石やヘルニ ア、直腸脱などの良性疾患に対する手術、腹部・ 末梢血管の動脈瘤、動脈閉塞症、静脈瘤や 動脈・静脈血栓症に対する外科治療などを行っ ています。消化器外科、血管外科、乳腺外科 という多岐多様な領域の疾患をそれぞれの分野 の専門医師が担当し、チームワークを活かして 幅広い外科医療を提供しています。

整形外科

脊椎・脊髄外科、骨軟部腫瘍、小児整形外科、 人工関節外科の各部門において日本整形外科 学会認定の指導医または専門医が診療に当 たっています。特に骨軟部腫瘍、小児整形外 科は限られた施設でしか治療が受けられない領 域であり当科の特長です。脊椎・脊髄疾患は、 低侵襲手術を顕微鏡下にて行い、術後の早期 離床・早期退院を実現しています。

皮膚科

救急治療を要する帯状疱疹、蜂窩織炎などの 急性感染症治療をはじめ薬疹、重症の蕁麻疹、 アトピー性皮膚炎の治療、他領域の疾患と関連した皮膚病変の診断・治療に力を入れていま す。良性・悪性問わず皮膚腫瘍の診断・治療 では整容面も考慮し、形成外科と協働して手術 を行っています。乾癬、掌蹠膿疱症の診療を行っ ており、関節炎を伴う症例は内科(リウマチ・膠 原病分野)と連携し、生物学的製剤治療にも 対応しています。

泌尿器科

前立腺、膀胱、腎臓、尿管の悪性腫瘍から尿路結石、前立腺肥大症などの良性疾患まで幅広い診療を行っています。低侵襲治療を推奨しており、ロボット補助下腹腔鏡手術、3D腹腔鏡手術、単孔式腹腔鏡手術を導入しています。前立腺肥大症には経尿道的前立腺核出術、蒸散術に加え水蒸気や牽引による低侵襲治療、尿路結石には体外衝撃波や内視鏡下破砕術、がんには放射線治療(IMRT)など、さまざまな装置と技術による低侵襲な治療を行っています。

眼科

眼科一般診療だけでなく角膜移植、再生医療、ドライアイ、網膜硝子体、緑内障などの専門外来を設置しています。内科との糖尿病網膜症の治療、歯科・口腔外科や内科とのシェーグレン症候群のような難治性症例への対応など、院内連携を行うことができるのが特徴のひとつです。角膜移植は国内最多の移植件数を誇りますが、常に新しく、より有益な術式を取り入れ、当該分野のフロントランナーとして実績を積んでいます。



放射線治療装置トモセラピー

臨床検査科 / 病理診断科

生検検体と手術摘除検体の組織診断、細胞診断、術中迅速診断を行い、各診療科における治療方針決定に貢献しています。対象となる疾患は腫瘍性非腫瘍性を含め全身多岐にわたり、地域がん診療連携拠点病院として消化管、肝胆膵、乳腺、肺、腎、泌尿器、生殖器、造血器、骨軟部などの各種がんの病理診断に対応しています。特に「口腔がんセンター」を有する当院では口腔がんの診断数が多いのが特徴です。

歯科・口腔外科

親知らずの抜歯や先天疾患(口唇・口蓋裂手術や顎矯正手術)、外傷、顎骨疾患、顎顔面インプラントなどの高度な口腔外科治療を行っています。また全身疾患を有する患者さんや障がいのある方の歯科治療、口腔粘膜疾患、睡眠時無呼吸、顎顔面疼痛などの専門外来も開設しています。さらに、入院患者さんの口腔ケア、摂食嚥下リハビリテーション、骨粗鬆症患者さんに対するチーム医療にも参加しています。

Annatari - Annatari -

手術支援ロボット

耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科全般の治療を行っています。複数の専門医が在籍しており、専門領域は鼻副鼻腔、咽喉頭、耳、頭頸部と広範囲にわたります。 睡眠障害や摂食障害などの機能障害も対応可能です。鼻副鼻腔疾患においては慢性副鼻腔炎、特に好酸球性副鼻腔炎に対し内視鏡下鼻内手術を行っています。また、歯性上顎洞炎、睡眠障害、摂食障害では歯科・口腔外科と連携し治療に当たっています。

放射線科

放射線科では、CT装置やMRI装置などの診断機器を用いて、さまざまな画像検査を行っています。5名の放射線診断医が、診断報告書を作成するとともに、多様なIVRも数多く行っています。放射線治療部門では、高精度放射線治療が可能であるトモセラピー装置を用いて悪性腫瘍に対する放射線治療を行っています。2名の放射線治療医をはじめ、看護師、診療放射線技師がチームとなってこれに当たっています。

緩和ケア科

さまざまなつらさを軽減するための診療を行っています。がんによる身体の痛みの治療に鎮痛薬は欠かせません。多くの効果の高い医療用麻薬が使用可能になり、吐き気や眠気などの副作用も軽減しています。当科ではがん性疼痛管理の指針を策定し、薬物による症状コントロールをはじめ精神療法、さらには放射線治療も組み合わせた疼痛軽減を図っています。疼痛が改善され安心して療養できるよう支援をしています。

歯科外来棟

産婦人科

妊娠管理・分娩を取り扱う周産期医学、不妊やホルモンに関する生殖内分泌学、婦人科がんを治療する婦人科腫瘍学、女性のQOLの向上を予防医学の立場から考える女性医学を4つの柱として専門医を中心に医療を提供しています。「女性のライフパートナー」としての総合産婦人科を目指し、がん治療後の卵巣欠落症状への対応にも力を入れるなど、治療後のQOLにも配慮した対応をしています。

形成外科

形成外科全般の領域において、専門医が専門性の高い診療を行っています。特に頭頸部・その他領域の腫瘍切除後や外傷後などの再建外科、顔面神経麻痺治療、リンパ浮腫に対する外科的治療などを得意としています。皮膚の良性・悪性腫瘍は皮膚科と密接に協力し、顔面神経麻痺治療についても早期から耳鼻咽喉科・眼科の協力のもとで総合的な治療を行うなど、院内他科と連携し、治療しています。

麻酔科

日本麻酔科学会指導医、日本専門医機構専門医、日本歯科麻酔学会専門医・認定医を中心に、医科・歯科合わせて年間約3,500例の麻酔管理を行っています。手術室看護師と連携して手術室の安全管理、周術期の質の向上を図るとともに、研修医・専門医の教育に力を入れています。集中治療領域では日本集中治療医学会専門医と、緩和ケア領域では日本緩和医療学会指導医・専門医と連携しています。

救急科

当院は2次救急医療機関ですが、市内に3次 救急医療機関がないため重症例の受け入れも 広く行い、地域における急性期医療を担ってい ます。救急外来の年間総受診患者数は約1万 人弱ですが、これらのうち救急車での来院が7 割以上で、入院を必要とする中等症以上の患 者さんは約3割です。重症度や緊急性の高い 急性期の医療を中心に、地域のニーズを意識 した救急医療の提供に努めています。

口腔がんセンター

全国でも数少ない、口腔がんの治療に特化した高度な専門治療を行っています。各専門科と連携し手術やがん化学療法等を行うことで、安全な医療の提供を心がけています。口腔がんは、食事・会話・顔貌といった生活に直結した場所に生じるため、常に機能温存に重点を置き最適な治療法を選択します。治療後の機能回復については、義歯や顎顔面インプラント、摂食・嚥下指導などの専門治療を受けることができます。

7

6

リプロダクションセンター

国内初の凍結受精卵による妊娠・分娩の成功など多くの実績があります。女性、男性ともにペアでご受診いただき、それぞれの検査を通じてテーラーメイドの不妊症治療のご提案をしています。人工授精までの一般不妊治療から体外受精・顕微授精といった生殖補助医療まで実施しています。また担がん患者さんの卵子・精子・胚の長期保存(がん生殖)も行っています。



透析センター

透析センター・腎不全治療センター

泌尿器科医と腎臓内科医が在籍しています。 腎不全には腎代替法として血液透析、腹膜透析、腎移植のいずれかが必要となりますが、これらの治療はそれぞれに特徴があるため、泌尿器科医と腎臓内科医が共同で、患者さんと最適な治療方法を選択しています。当院は献腎移植の認定施設となっており、生体腎移植では腎提供ドナーに低侵襲な単孔式腹腔鏡手術を行っています。

医療安全 管理部の ご案内

専従の医療安全管理者や感染管理者、感染管理認定看護師、薬剤師などからなる医療安全管理部を設け、医療現場における安全の確保と感染予防対策を行っています。

糖尿病・内分泌センター

1型・2型糖尿病のほか、甲状腺疾患などの内分泌疾患を担当しています。外来診療ではインスリン導入をはじめ持続グルコースモニタリング(CGM)やインスリンボンプ療法にも対応可能です。糖尿病専門看護師による予防的フットケア外来、看護師・管理栄養士とともに行う透析予防外来も開設しています。入院診療では糖尿病教育入院や高血糖緊急症などの急性合併症管理を行っています。また月に1回、糖尿病教室を開催しています。

心臓病センター ^{ホットライン(医師専用)}

急性心筋梗塞、心不全などの心臓疾患を治療するため、24時間365日専門医が待機し、急患の受け入れを行っています。地域医療機関の先生からのお問い合わせに対し、専門医師が直接対応できるホットラインを設け、救急患者さんの受け入れができる体制を整えています。循環器内科と心臓血管外科が連携することで、内科的治療と外科的治療の総合的な治療を可能にし、迅速かつ患者さんに適した医療を提供しています。

角膜センター

海外ドナー角膜の手配、情報管理、移植者のフォローアップを行う角膜移植関連業務部門、提供された眼球を移植者に公平・公正に斡旋するアイバンク部門、角膜再生医療に加えてドライアイ、角膜移植に関する基礎、臨床研究を実施する研究部門の3部門で活動しています。全層角膜移植、角膜内皮移植、上皮移植や羊膜移植などの角膜移植の術式が対応可能となり、より多くの症例に対して適した術式を選択できるようになりました。

医療安全管理室

医療安全管理室では、当院の理念に基づき、一人ひとりの患者さんに最良の医療を提供するために、安全管理体制の整備を行い、医療事故の防止に努めています。インシデント事例の再発防止に向けた改善への取り組みや5Sラウンドなどの医療安全活動を継続し、院内の安全確保に取り組んでいます。また、患者相談窓口とも連携し、当院の基本方針である「医療の安全を確保するために最大限の努力をはらいます」が遂行できるよう、日々活動しています。

高難度新規医療技術等評価室

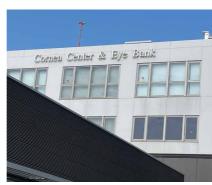
当院では、先進的で高度な医療技術や医療機器を診療に新規導入する際に、倫理的・科学的な妥当性や、当院での診療に導入することの適切性、および安全な提供方法を当室が中心となり検討を重ねています。そこで下した判断をもとに、より安全な医療技術・医療機器の新規導入を実行に移しています。

脳卒中センター

脳卒中急性期医療を担うべく、24時間365日 脳卒中救急患者さんを受け入れています。日本 脳卒中学会より一次脳卒中センター(PSC)、 PSCコア施設と認定され、脳卒中学会等指導 医、脳卒中リハ看護、摂食・嚥下障害看護認 定看護師を擁します。急性期は必要に応じて t-PA静注療法、血管内手術・内視鏡手術・ 開頭術を行います。SCUで集中管理し、千葉 県共用脳卒中地域連携パスで、回復期リハビ リ病院、かかりつけ医、在宅療養につなぎます。

脊椎・脊髄病センター

当センターでは、「安全性」「確実性」「低侵襲」を3つの柱にして手術を行っています。具体的には、顕微鏡を使用した筋肉温存型低侵襲手術を行い、超高齢者にも行える低侵襲手術を実践しています。また、脊椎固定術にナビゲーションシステムを導入し、より安全で確実な手術を行っています。がん治療の発展に伴い増加している転移性脊椎腫瘍に対しても脊椎固定術を施行し、患者さんのQOL向上に努めています。



角膜センター

感染予防対策室

医療機関において、感染制御と医療安全は両翼をなすといわれます。当院の感染予防対策室では、感染に関する最新の情報を収集し、治療の質の向上、院内感染の防止に取り組んでいます。抗菌薬適正使用の風土づくりにも力を注いでおり、毎週、広域抗菌薬投与状況を確認、検討し、現場へフィードバックしています。さらに、さまざまな耐性菌や麻疹、風疹などの流行について自施設のみではなく地域の問題として捉え、地域の医療機関と情報の共有化を図り、感染拡大防止に努めています。

医療の質管理室

医療の質とは「個人と集団への医療行為が望ましい健康状態をもたらす確率、最新の知識と一致する程度」と定義されます。医療の質管理室では、当院の医療の質の向上を図り、医療安全に資することを目的としています。院内各部署で集計したデータをもとに臨床指標の評価と分析を行い、関連部署へのフィードバックをすることで、医療の質改善のPDCAを回すサポートをしています。質と安全の両輪でよりよい病院づくりに貢献していきます。

中央施設 <u>部門のご</u>案内

より安全で円滑に治療を受けても らえるよう、各部門が専門性を活 かし、診療をサポートしています。

手術室

中央手術室(9室)、第2部手術室(3室)を備え、各診療科の特性に合わせた手術ができるように設備・人員を整えています。外科系医師、麻酔科医師、看護師、臨床工学技士などがチームとなり安全かつ円滑に手術が行えるよう努めています。また、病棟・外来・薬剤部など部署と連携を図り、周術期管理を行っています。前立腺がん、直腸がん、胃がんに対し、hinotori™を用いたロボット支援下手術を行っています。

輸血センター

年間およそ4,000件の輸血を実施しています。 血液型、不規則性抗体、交差適合試験などの 検体検査や輸血用血液製剤・自己血の保管、 管理をしています。主な血液製剤は赤血球液、 新鮮凍結血漿、濃厚血小板製剤ですが、専 用の保冷庫・冷凍庫で適切に温度管理をして います。安全性を高めるため、輸血専用のシステムを用いて製剤の入出庫・在庫の状況や患 者さんの輸血歴などを保管・管理しています。

薬物療法室

外来通院中のがん患者さんを主な対象とし、従来の抗がん剤だけでなく、分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬など、最新の薬剤を使った治療を提供する部門です。薬物療法科医師を中心に、各科主治医と連絡を密に取り、専門資格を有する認定看護師、認定薬剤師を含む充実したスタッフが治療に当たります。副作用を減らすための方策により、患者さんやご家族の不安の軽減を図り、安心して治療を行うことができるように努めています。

放射線科(技術部門)

放射線科では、レントゲン検査、CT検査、MRI検査、血管造影検査、放射線治療など多岐にわたる検査や治療を行っております。最新の機器を多く揃えており、これらの機器を扱う診療放射線技師は、患者さんに安全で質の高い検査や治療を提供できるよう検査技術、治療技術のスキルアップに日々取り組んでいます。また、安心して検査や治療を受けていただけるよう装置の品質管理や放射線の被ばく管理を徹底して行っています。

看護部

患者さんの気持ちに寄り添い、信頼される質の高い看護の提供を目指しています。安心・安全な看護が提供できるよう、看護体制は、2人の看護師がペアとなり相互に協力し合って日々の看護ケアを行うパートナーシップ・ナーシング・システム(PNS)を取り入れています。また、多くの専門看護師や認定看護師、院内認定看護師が、専門的な知識や技術を活かして、治療を受ける患者さんやご家族を支えています。

健診センター

当センターでは各診療科の専門医による診察、 検査、画像読影・診断を行い、信頼度の高い 人間ドックを目指しています。受診後は健康な 生活習慣の維持・健康増進に役立つ助言を行い、再検、精査、治療については希望により 当院各診療科へ迅速かつスムーズに紹介してい ます。さらに、当院の特長を生かした詳細な歯 科診察、口腔機能低下症検査や口臭検査など のオプションをご用意し、健康寿命延伸に役立 てていただけるように努めております。

集中治療室

重症感染症患者の治療に対応した陰圧室2床を含む6床を有し、周術期管理症例に加え、高度生命維持装置の装着が必要な症例を中心に年間約500例を受け入れています。医師、看護師に加えて薬剤師、臨床工学士、理学療法士、管理栄養士等、多職種で組織されたチームにより、高度集中治療を実践しています。早期離床リハビリテーション、早期栄養介入管理に積極的に取り組み、集中治療管理からの回復の向上に努めています。



薬物療法室

臨床検査科(技術部門)

検体検査「生化学・免疫検査、血液検査、輸血検査、一般検査」は24時間体制で行い、常に品質の高い検査と迅速性を追求し、適切で円滑な医療を提供できるよう努めています。また、中央採血室、微生物検査、病理検査、生理機能検査も含め、国際規格「ISO15189」認定施設として患者ケアに影響を及ぼす可能性のある不適合の減少に努めながら地域医療支援に貢献しています。

薬剤部

患者さんに質の高い安全な薬物療法を提供するために、内服薬調剤・注射薬調剤、抗がん薬の混合調製や特殊な製剤の調製、薬品の在庫や医薬品情報の管理などの薬品に関する業務と病棟や外来での患者さんへの薬の説明や効果・副作用の確認なども行っています。また、さまざまな分野の専門・認定薬剤師が在籍し、院内の医療チームで活動しています。さらに患者さんが退院後も安全で有効な薬物療法を受けられるように、地域の薬局との連携も行っています。

MEセンター

医療機器管理部門と手術室部門と血液浄化部門の3つの部門からなり、医療機器の安全な使用に貢献しています。機器管理部門は人工呼吸器や輸液ポンプなど約800台の医療機器の管理・点検を行います。手術室部門は手術室にある医療機器の管理、心臓外科手術や循環器内科の治療に関わります。血液浄化部門は透析装置や透析液の水質管理、ブラッドアクセスへの穿刺も行います。

栄養管理室

入院患者さんの栄養状態の回復・維持・向上を目的として、栄養・食事管理や栄養指導を行っています。食事療養サービスでは病状に合わせた食事提供を、栄養食事指導では生活習慣や健康状態に配慮した栄養食事指導を行います。臨床栄養管理では栄養状態を評価、管理し、総合的に栄養管理を行います。特別な栄養管理は、多職種による栄養サポートチーム(NST)がお手伝いします。

コ・デンタル部

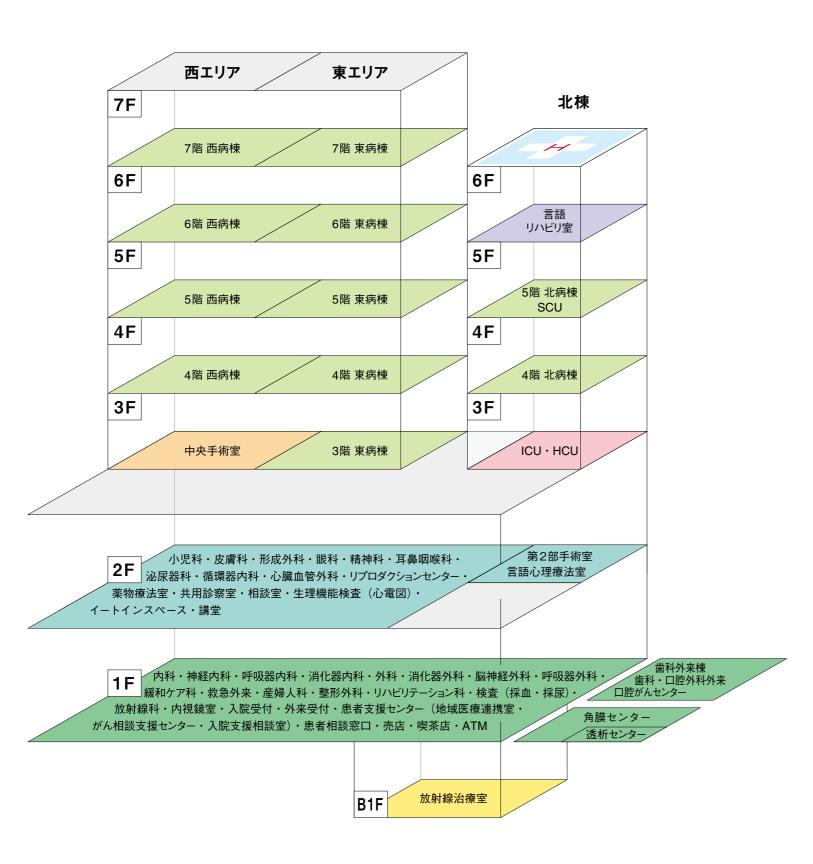
1名の歯科医師、14名の歯科衛生士と1名の歯科技工士が在籍しています。患者さんの口腔衛生や口腔機能の維持・向上、誤嚥性肺炎などの術後合併症の予防を目的として設置されました。口腔内の健康管理だけでなく、口腔を通して全身管理を行うことも大切にしています。また患者さんが「美味しく食べられる」「楽しく会話ができる」などのQOL向上のための支援も行っています。

内視鏡室

日本消化器内視鏡学会指導医5名、日本呼吸器内視鏡学会指導医3名が常勤で在籍し、年間約6,000件を超える内視鏡検査、治療を行っており、安全かつ患者さんに負担の少ない内視鏡を目標に日々業務に励んでいます。早期がんに対する内視鏡治療、消化管出血に対する止血処置、黄疸に対する減黄処置、ステントの留置など、ほぼあらゆる内視鏡的処置を積極的に行い、特に胆道・膵疾患に関しては東葛南部医療圏で中心的な役割を担っています。

フロアマップ

当院のフロアマップとサービス設備をご紹介します。



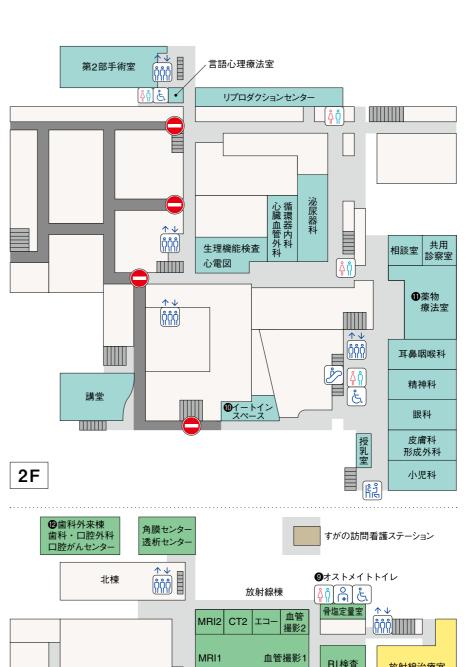


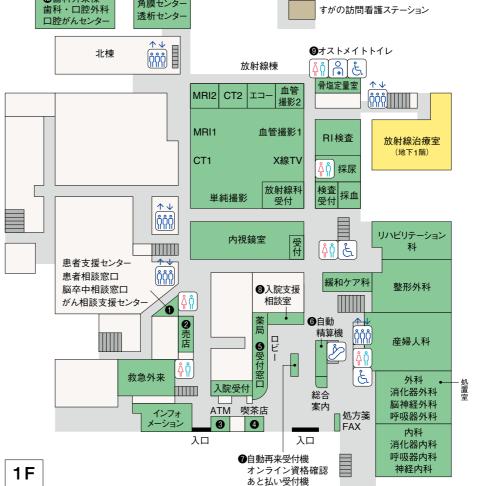






⑨1Fオストメイトトイレ









②売店(ATM:e-net、ゆうちょ)



③ATM(三井住友、千葉)



4 喫茶店



⑤受付窓口



6自動精算機



⑦自動再来受付機、オンライン資格 確認、あと払い受付機



❸入院支援相談室

10

病院概要

■ 病床数 511床

■ 歯科診療台数 27台(外来25台、病棟2台)

■ 標榜診療科(26科)

内科、腎臓内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器 内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、脳神 経外科、整形外科、リハビリテーション科、心臓血管外科、皮 膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、形成外科、放 射線科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科、病理診断科

■ 診療センター

口腔がんセンター、リプロダクションセンター、糖尿病・内分泌センター、脳卒中センター、心臓病センター、脊椎・脊髄病センター、 透析センター、腎不全治療センター、角膜センター

■ 主な指定医療

健康保険法保険医療機関、国民健康保険法療養取扱医療機関、 労働者災害補償保険法指定医療機関、生活保護法指定医療機関、 児童福祉法指定小児慢性特定疾病医療機関、難病法指定医療機 関、原爆医療法被爆者一般疾病医療機関、障害者総合支援法自 立支援医療機関指定病院、母子保健法指定養育医療機関、感染 症法指定医療機関、千葉県肝炎治療特別促進事業指定医療機関、 公害医療機関、身体障害者福祉法

■ 主な施設認定

救急告示病院、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、 災害拠点病院、病院機能評価認定施設、ISO15189(臨床検査室 認定)、脳死下臓器提供施設、腎臓移植施設、臨床研修指定病院、 臨床修練指定病院、紹介受診重点医療機関、一次脳卒中センター (PSC)コア認定施設 など

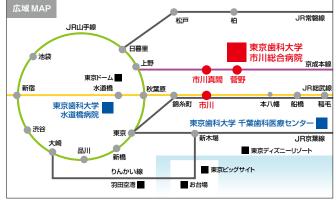
■主な診療機器

手術支援ロボット(hinotori™)、放射線治療装置(トモセラピー、マイクロセレクトロン)、MRI(3.0テスラ、1.5テスラ)、CT(128列、320列)、核医学検査装置(ガンマカメラ)、血管撮影装置、マンモグラフィ装置、骨塩定量装置

ACCESS

- JR総武線市川駅から、北口2番停留所より 京成バス「市川学園」行乗車、「市川総合病院」下車 ※JR総武線「市川」駅からタクシーで約10分。1,000円程度。
- 2 | 京成本線市川真間駅から、市川真間駅停留所より | 京成バス「市川学園」行乗車、「市川総合病院」下車
- 3 京成本線菅野駅より徒歩15分





関連施設

東京歯科大学水道橋病院

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-9-18

東京歯科大学千葉歯科医療センター

〒261-8502 千葉県千葉市美浜区真砂 1-2-2



東京歯科大学市川総合病院

